



とあるムスリムの今に至る
までの話



jaafar

序章、クリスチャン時代の出来事

ある日曜日、好きになったクリスチャンの女性がいて女性牧師に話したら「それはノーです。」と言い「全牧師に話します。」と言い、ある女性牧師は夕食時、「入れさせないよ」と言い、ひどい事を言われた。

極めつけは「想いがこもった大切にしていた無線機」が壊れて祈ってもらおうとしたのに「祈らなかった。」と意地悪された。

集会に参加しないで「ノンアルコールビールを飲んでいいか？」と聞いたら、「集会に出ていないでしょう、サタンの誘惑です！！」と怒鳴られて、礼拝中に時にも引退した老牧師に怒鳴られて(但し、その牧師に促されて洗礼を受けた)嫌気がさし、集会に参加しなくなり、4月のある日曜日に「アマチュア無線の集会」があったのでそれ以来教会の門をくぐらなくなった。

1章 入信に至るまで

ある日「チェーンバイブル」を読んでいたら、クルアーンを読んでみたくなり、ネットで見つけた「イスラームフリーダイアル」で質問したら、「赤ちゃんにも罪があるのはおかしいでしょう？」と言いその時に文章を送る時に「病気療養中」と書いて質問して、「2冊の小冊子」をもらった。

当時、「イスラームと言う宗教」のカウンセラーと話したり、「イスラムHP」で本を買ったりして、ウズーや礼拝や豚肉類を食わなくなった。

ある土曜日、「組織の代表」と食事会があり、その前に井筒俊彦訳の「コーラン」を買い、食事会に参加し、

「代表」に「入信したい」と言ったら、「主治医に相談しなさい」と言われ、自宅に戻って聞いたしたら、「外部の医師にそう言われました」と言われた。

ところが、2日後の月曜日が「外来の日」でその話をしたら、「こんな事は私がどいうこういう問題ではないわ、自分で決めなさい」と言われ、入信が許された。

しばらくの間、チャットで話し合いをしたり、小冊子を読んでいて、しばらくして「入信前にシャワーを浴びなさい」という内容のメールが届いた。

ある日の事、地元のモスクで集会があるので主催者の先生にメールで連絡し、入信1日前にモスクの門を潜った。

その時に「キリスト教の伝道活動」を話したら、ウズベキスタン人の同胞が「押し売りみたいだ」と言った。

そして、食事はチキンカレーとナンが出て食べて、寝てからファジュルの礼拝をして、散歩して、昼食にカレーをごちそうになり、集会は終わり、その足で「代表」と共に食事をしたレストランに行き、入信式を行った。

2章 入信からしばらくの間

「代表」が「汝の罪は許された」と言い「私の後に続いて言いなさい」と言いトルコ人のコックと「イスラームフリーダイヤル」のカウンセラーのムスリマの立会いの下「ラーイラーハーイラッラー(アッラーの他に神は無し)」と言ったら続けて唱え、「ムハンマドラスルッラー(ムハンマドは神の使徒なり)」と言ったら続けて唱えた。

そして、数日後、「ムスリムネームは「ジャーファル」で、アリー様のおじで勇者でがんばりや」という内容のメールが届き、「イスラームとは何か」と言う本と絨毯が届いた。

入信したての時にとあるモスクからイマームが日本に来日し、外国の大使とイマームと共に食事をした。

その時に左手でペットボトルの水を左手で飲もうとしたら叩かれて、左手で食事を取ろうとしたら同じく叩かれて、後に理由を聞いたら「ハディースに「悪魔は左手で飲み食いする」という話がある」と説明を受けた。

母に話したら「やめた方がいい」と言い今でも偏見の目で見ている。

ある研修合宿の日、アンチョコを見ながら礼拝をしていたらたどたどしい日本語で「コンナモノイラナイ、オボエテイルコトバデヤリナサイ」と言われた。

ラマダーン中の時のアスルの礼拝の後に礼拝をしたので、トイレに行こうと去ろうとしたら呼び止められ、「ファジュールやアスルは後の礼拝はしなくてもいいの」と説明を受け、ラマダーン明けの献金を納めようとして全くわからなくて、主食のコメを納めたが、他のムスリム同胞が「1500円でいいの」と言われ、コメはモスクで使う事になった。

ラマダーン明けの儀式は声高に司式者がしゃべり、金曜礼拝に参加して自宅に戻った。

3章 知識を求めて

私の誕生日にあたる日にとあるモスクに行き、左手で食べようとしたら「左手は不浄の手」と言い、「研修合宿」で知っているムスリム同胞に出会い、巨体のムスリム同胞に目をつけられ、「アッラーは頭の中までご存じだよ」と言いズィクルの教え方を教えてもらい、同じ皿でカレーを食べた。

その時に「開扉章」を覚えなさい」と宿題をもらった。

研修合宿には欠かさず参加し、モスクに行ってきたときに私にアラブ服をあげた方に出会い、色々な事を教えてもらった。

研修合宿の「講師」が色々と手をまわしていただき、書籍をいただいたり、チャットの相手は厳しい内容で説明されて「礼拝の文言」を覚え、書物ももらい、買い物したらイスラームの本をもらったりした。

又、英国のムスリマ様から「アルファベット併記のクルアーン」をいただいた。

「フェイスブック」にも参加して代表はムスリマ様が運営していて色々と書き込んで色々な知識をもらっている。

ラマダンの時に知り合ったイマームに「ダンスはハラームですよ」と言われ、モスクで知り合ったムスリム同胞に仕事を紹介されて仕事をいただいた事もあった。

さて、別のモスクに行って巨体のムスリム同胞からの宿題である「開扉章」を唱えたら「マッシュアッラー」と大喜びで「純正章」を覚えなさい」と言われそれも(不完全ながら)覚えた。

ある日の事、翌日に大学で講演会に参加する外国人の学者が来て、事務所で食事をとっていたら、赤ひげの男性が「君、この部屋から出なさい」と言われ、「どこで入信したんだね?」と聞き、「トルコレストランでやりました」、「イマームは?」、「トルコ人の方です」と言ったら、「ああ、京都のトルコ人ね」と言い親しくなった。

又、そのモスクで行われる「キャンプ」の前の金曜礼拝後の時、仕出し弁当屋で鶏肉料理の弁当を食べていたら「ハラームですよ」と言い理由は「バスマラを唱えないでほふったからだよ」と言い、カップのそばを食べていた時、「お魚ですよ」と言って「材料を見せて」と言い見ていたら、「乳化剤」が「豚肉の成分」が使われている危険性がある」と言われました。

そして、キャンプに行き、渋滞の時に退屈しのぎにラジオを聞いて、時間をつぶした。

夕食の時にコックが「ジャアファル、もも肉の脂身を教えるから取ってくれないか?」と言われて手伝いをした。

朝になって生まれて初めてボートを漕いで子供たちと一緒に遊んだ。

今では「セミパネルディスカッション」の司会進行をやるようになり、他のモスクでは爆睡こいたのでチャットの時に指摘され、他のモスクの代表がムスリム団体の元会長が訪れた時に「寝ているじゃない?」と笑われたりした。

そして、「フェイスブック」では意見交換と色々な話をして現在に至る。

終わりに

アッサラームアライクム

現在進行形の私であるが、今でもモスクに通ったり、研修合宿に参加して知識を得ている。

他のサイトに内容が重複しているが、これらを「一冊の本」として記した。

一読していただいた皆様方ありがとうございます。

これからも勉強して学びを深めようと思います。

とあるムスリムの今に至るまでの話

<http://p.booklog.jp/book/66591>

著者 : jaafar

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/jaafar/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/66591>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/66591>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社ブクログ